

「水セキュリティ」の分野で「CDP Aリスト」に選定

日清オイリオグループ株式会社(社長:久野 貴久)は、国際的な非営利団体 CDP が実施する環境への取り組みに関する企業調査において、「水セキュリティ」の分野で3年連続で最高評価の「Aリスト」に選定されました。これは当社が、包括的な情報開示を行い、環境ガバナンスの成熟度が高く、環境レジリエンスに向かって意義ある進捗があった世界的なリーダーの一社であることを意味しています。なお、「気候変動」「森林」については、A-の評価となりました。

当社グループは植物資源を事業のベースとしており、地球環境や資源の保護は、事業の持続性そのものと捉えています。これからも、地球環境を次世代に引き継ぐために脱炭素化社会の実現、森林の保護、水資源の保護に向けた取り組みを推進することで、社会との共有価値を創造し、当社グループの持続的な成長と社会の持続的な発展の実現に努めていきます。



[画像ダウンロード](#)

■CDPについて

CDP は、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営し、毎年何千もの企業の評価を行っています。2025 年は、22,100 社を超える企業が CDP のプラットフォームを通じて情報を開示し、そのうち 20,000 社がスコアを付与されました。また、運用資産総額 127 兆米ドルにのぼる 640 の機関投資家が、環境へのインパクト、リスク、機会に関するデータの収集を CDP に要請しています。

CDP スコアと「Aリスト」について <https://www.cdp.net/en/companies/companies-scores>